

答 申 書

千歳市廃棄物減量等推進審議会

令和8年 2月 9日

千歳市長 横 田 隆 一 様

千歳市廃棄物減量等推進審議会
会長 唐 澤 直 樹



第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて（答申）

令和7年7月31日付け千管総第61号で、当審議会に対する諮問のうち、下記のことについて、別紙のとおり答申します。

記

第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて

以上

第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて

千歳市では、平成28年3月に策定した「第5次千歳市一般廃棄物処理基本計画（平成28年度から令和12年度）」に基づき、廃棄物の減量及び資源化、適正処理等の23施策について進められています。

今回は、本計画に基づく2回目の中間見直しにあたり、令和7年7月31日に千歳市長から本審議会に諮問されたところです。

審議にあたっては令和3年3月の前回見直し後、新型コロナウイルスの影響や道央廃棄物処理組合焼却施設の稼働に伴う区分変更、千歳市人口ビジョンの改訂などの社会情勢の変化を踏まえ、令和2年度から6年度までの各廃棄物の実績に対する分析結果や、23施策における取組状況の評価、方向性を示した検証結果のほか、令和7年度から12年度までの各廃棄物の推計値等を確認し、新たな計画目標値などについて、4回にわたり審議したところ、今回の見直し案については、今後の計画期間における廃棄物の減量及び処理、適正処分の方向性を定めるものとして、計画目標や各施策等については妥当なものとして認めます。

なお、今回の本計画見直し後の5年間においては、次の事項について留意し、取組を進めるよう答申します。

1. 目標達成に向けた更なるごみ減量の取組

上方修正した計画目標について、新たな目標を達成させるため、市民・事業者・市の3者が協働でごみの減量及び資源化の取組を更に推進していただきたい。

2. 事業系一般廃棄物の減量及び資源化の促進

事業系一般廃棄物の排出量は増加傾向にあり、2回目の見直しにおいて唯一目標値を達成していない項目であります。

事業者は、事業活動において発生する廃棄物を自ら適正に処理し、資源の有効活用を進める排出者としての責任があることから、市は、一般廃棄物収集運搬許可業者と連携して、排出事業者に対し廃棄物の発生抑制、再使用及び再資源化について、周知、指導を強化し、目標達成に努めていただきたい。

3. 家庭廃棄物の減量及び資源化の推進

家庭廃棄物の減量目標である原単位については、減量目標を達成したことにより、上方修正した新たな減量目標となり、市民への理解と協力が必要となることから、より一層の廃棄物の減量や資源化を図るため、市民にわかりやすい情報発信など、積極的な周知に努めていただきたい。